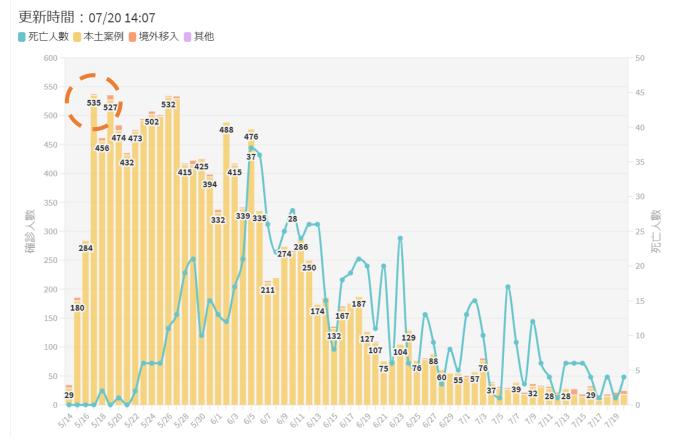
台湾 新型コロナウイルス感染者数

累計感染者数	累計死亡者数
15,453人	773人

※中央感染症指揮センター7月20日発表

- ●感染者数のピークは5月17日の535人 台湾全土に警戒レベル3が発令
- ●7月20日の感染者は24人_(国内感染者は18人)
- ●5月中旬は500~400人が続くが、 警戒レベル3の延長により徐々落ち着く
- ●6月25日以降は100人以下となり、**7月4日以 降は1日10~30人台まで**下がっている





※Yahoo新聞 新冠肺炎疫情報速報 https://news.campaign.yahoo.com.tw/2019-nCoV/index.php

主なクラスター発生事例

21年4月 航空関連でクラスター発生	航空会社の貨物機操縦士・乗務員24人が感染。また、空港の防 疫ホテルの従業員と家族、ホテルの利用者29人が感染
21年5月 市中感染発生	新北市内で食事会に参加していた31人が集団感染。12日には台 北市内の飲食店従業員や利用者16人が感染
21年6月 苗栗縣のメーカー内集団感染	外国人従業員が入居する宿舎でクラスターが発生。従業員や近 隣のメーカー含め265人が感染
21年6月 デルタ変異株の感染者を確認	屏東のタクシー運転手とその乗客計12人が感染。そのうちの6人 が変異株「デルタ株」に感染
21年6月 市場でクラスターが発生	農産物の卸売・輸送会社の社員から周辺の市場・屋台に感染が 広がる。これまでに232人の感染を確認

台湾政府の取り組み ①警戒レベルの発令

「警戒レベル」とは、中央感染症指揮センターが発表する台湾の新型コロナウイルスに関する警告

「警戒レベル2」以上になると、展示会は中止または延期となります

展示会開催可否の分岐点

台湾防疫警戒レベル

警告レベル

指標

代表的な国民への要請内容

レベル 1

海外からの輸入症例で、 且つ市中感染が発生

- ・交通機関はマスク着用
- ・各営業エリアに実名登録制
- ・ソーシャルディスタンス
- ・体温測定、消毒を実施など

レベル 2

台湾国内で感染源が不明 な症例が発生

- ・マスク着用に協力しない人 には罰金
- ・屋外500人以上、室内100 人以上の大規模集会を禁止 など

レベル 3

1週間以内に3例以上の地域内クラスターが発生。または、感染源不明の新規感染者が1日に10人以上確認される

- ・外出の際はマスク着用必須
- ・レジャー施設の営業停止
- ・室内での5人以上の集まりを禁止

など

中央感染症式センター2021年5月11日発表

国内感染者が急増。14日 間の感染平均が1日100人 を超える。且つ半数以上 の感染ルートを特定でき ない

- ・出勤や登校禁止
- ・食品の買い出し、受診、急 な仕事を除き外出は禁止
- ・家の中もマスク着用とソーシャルディスタンス

など

台湾政府の取り組み ①警戒レベルの発令~これまでの流れ

<警戒レベル発令の経過>

- ・5/11 警戒レベル2を発令→6/8まで
- ·5/15 台北市・新北市に警戒レベル3を発令→5/28まで
- ・5/19 台湾全土に警戒レベル3を発令

5/28 → 6/14 → 6/28 → 7/12→7/26(一部緩和)と延長



〈展示会への影響〉

警戒レベル3の発令により5月以降の展示会は中止・延期が続いています。

・8/20~8/23 台北国際観光博覧会(TTE) →11/26~11/29に再延期(もともとは5/21~5/24)

· 6/25~6/28 2021高雄巨蛋旅展(高雄展覧館国際旅行展)→中止

・7/23~7/26 高雄市旅行公會國際旅展(KTF) →11/26~11/29に再延期(もともとは5/28~5/31)

・8/13~8/16 ATTA台中国際旅展 →10/22~10/25に再延期(もともとは6/4~6/7)

・8/18~8/21 2021台北國際自動化工業大展 →**12/15~12/18に延期**

台湾政府の取り組み ①警戒レベルの発令~現在の状況

7/26まで警戒レベル3が延長されましたが、7/13以降、一部規制が条件付きで緩和されました。

緩和条件

- ・実連制を行う・・人の流れの管理を徹底・・ソーシャルディスタンス
- ・飲食時以外のマスク着用・従業員の健康管理を徹底

<緩和されたもの>

屋外	国立公園、遊園地、スポーツ競技場、植物園、文化公園、学校のグラウンドなど	
室内	飲食店(レストラン、伝統的な市場と夜市、デパートのフードコート、フードエリア)、美術館、博物館、映画館、演劇場(無観客)など	
その他	国内の9人未満の団体ツアー、ドラマ・映画撮影	

- ◎政府の緩和策発表の翌日に、主要都市の市政府が店内飲食全面禁止を発令したため、北部では今だに店内飲食禁止が続いています。 台北市(店内飲食禁止、夜市テイクアウトOK)、新北市(店内飲食禁止、夜市禁止)、桃園市(店内飲食禁止、夜市テイクアウトOK)
- ◎プロ野球などのスポーツ、その他屋外イベントなども再開していません。

く引き続き閉鎖>

娯楽施設	カラオケ、ナイトクラブ、マッサージ、ボーリング・ビリヤード、ゲームセンターなど
教育	コミュニティカレッジ、シニア学習センター、自習室など ※現在学校は夏休みのため含まれていません
その他	展示会場、プールなど

台湾政府の取り組み ①警戒レベルの発令~現在の状況

7/13以降の規制の変化について

7月17日(土) 政府発表

- ① 風通しが良い場所で、且つソーシャルディスタンスが保たれていれば外での飲食可
- ② 車内では同居する家族であればお互いがマスクを取って飲食可同居しない者同士は、一人が飲食中の場合は他の者はマスクを必ず着用。 誰も飲食していない場合は、全員が必ずマスク着用
 - →これまでの規則では、同居するものであっても車内のマスク着用は必須でした。

台湾政府の取り組み②ワクチン接種の進捗

新型コロナウイルスワクチン接種状況

<2021年7月18日現在>

1回目接種完了 5,064,007人

2回目接種完了 130,100人

人口のおよそ0.55%が2回の接種を終え ている状況です。

※中央感染症指揮センター7月19日発表

<台湾で接種されるワクチン>

3つのルートから約3,000万回分のワクチンを確保

- 1) COVAXから割り当てられたもの…476万回分
- 2) 製薬会社から購入…1,505万回分
- 3) 事前に購入した国内ワクチン…1,000万回分

このほかに日本、アメリカ、リトアニアより支援、

TSMCと鴻海によるワクチン購入 など

く接種対象者>

1~10まで優先順位を設定

医療従事者、国や地方の防疫関係者、感染リスクの高い職業に就 く人、高齢者や基礎疾患を持つ方など、感染リスクの高い方から 順番に接種が行われています。

18歳以上を対象にワクチン接種意向の登録開始

7/13より18歳以上を対象に新型コロナウイルスワクチンの接種 意向登録が始まりました。ワクチンの種類は英アストラゼネカ製 と米モデルナ製から選択できます。

コンビニでワクチン予約可能に

台湾のコンビニ各社は7月13日、台湾全土の店舗で新型コロナウイルスワクチンの接種予約が可能になると発表しました。政府の接種予約プラットフォームで意向登録を済ませ、ワクチン予約が可能となったと通知するショートメッセージ(SMS)を受け取った人が対象。健康保険カードを持参の上、店頭のマルチメディア端末で予約できます。

予約受付は、セブンイレブン(統一超商)、ファミリーマート(全家便利商店)、ハイライフ(萊爾富)、OKマート(OK超商)です。

台湾政府の取り組み ③渡航状況

<外国人の台湾入国について>

・5月19日以降、居留ビザを持たない外国人の入国を完全に停止しています。

警戒レベル3発令以前の渡航条件(2021年1月当時)

<入国条件>

居留証所持者、外交公務・ビジネスの契約履行(商務履約証明書)、台湾籍の配偶者および未成年の子供がいる場合や 人道的配慮やそのほか特別に入国を許可された方

※商務履約証明書の手続きで審査が通れば、日本から台湾の展示会などに行くことも可能

<隔離期間>

すべての入国者が14日間の隔離が必要(隔離専用の施設やホテルで過ごします)

※6/26以前は同居者がいなければ在宅隔離も可能でした。

く提出物>

- ・ビジネスの契約履行(商務履約証明書)
- ・搭乗前3営業日以内に検査した新型コロナ陰性報告書
- ・在宅検疫を行う滞在先に関する証明書

台湾政府の取り組み ③渡航状況

<台湾人の台湾入国について> デルタ株を警戒して入国検査が強化

・7月2日より、入国から検疫終了までに2度のPCR検査と1度の簡易検査が必要となりました。

入国審査の強化

<主要な高リスク国からの入国(帰国)>

入国者は公費で集中検疫所に14日間滞在。集中検疫所でPCR検査を行い、検疫期間終了後に再度PCR検査を行います。 また、検疫期間中の10~12日目までにもう一度、コロナ簡易検査キット(家用快篩)で検査を行います。

※主要な高リスク国…ブラジル、インド、イギリス、ペルー、イスラエル、インドネシア、バングラデシュ

<それ以外の国からの入国(帰国)>

入国時に喉の深部唾液採取とPCR検査を行い、自費で集中検疫所または防疫ホテルに14日間滞在。検疫期間が終了する前(検疫日12~14日目)に再度PCR検査を行います。また、検疫期間中の10~12日目までにもう一度、コロナ簡易検査キット(家用快篩)で検査を行います。

<陽性が出た場合>

新型コロナウイルスの種類を判別するため、ウイルスのゲノム解析を行う

台湾 街の様子

- ●7/13に規制が緩和され、条件付きで一部施設、店舗等の営業が許可されましたが、台北市内では条件が非常に厳しく、営業を再開できないところも多く見られます。営業開始したところも厳しい条件下での運営に苦戦を強いられているようです。
- ●規制緩和の発令、新規感染者の大幅減少、また長引く自粛疲れなどがあり、街には人が増え始めています。以前は大幅にバスが減便されているにもかかわらず利用者が1台につき数名程度でしたが、最近は10名以上乗車しているバスもよく見かけます。
- ●店内飲食が禁止されているため、友人同士での外出は少なく、家族や単独での行動が多いようです。そのため、短時間での帰宅になることが多いです。以前は食料品や日用品を販売しているお店だけに人が集中していましたが、最近では少数ですが一般店舗にも足を運ぶ人が出てきました。

規制緩和後

規制

和前



南京復興の交差点



バスに乗る人も徐々に増えてきました



遼寧街のドリンクスタンド



遼寧街の屋台にも少しだけ人が返ってきました

南京復興の交差点



板南線 市政府駅のホーム



忠孝敦化駅近くのZARA 営業中です…



市政府駅 統一百貨のフードコート

台湾街の様子 ②感染対策

<感染ルート確認の徹底>

実連制 (実聯制)

入店時に本人と直接連絡がつく電話番号の登録が求められます。警戒レベル 3以降はスーパーやドラッグストア、コンビニなどあらゆる店で登録が必要 です。当初は専用サイトから手動で入力していましたが、オードリー・タン 氏が開発したシステムにより、スムーズな申告ができるようになりました。

〈混雑を避ける工夫〉

台北市では市場、屋台、スーパーマーケット、量販店へ入店可能な日を身分証の末尾番号を使って制限。平日は身分証の確認をしませんが、土日は身分証の提示が必要です。違反と確認した場合は3000元~15000元の罰金を科されます。

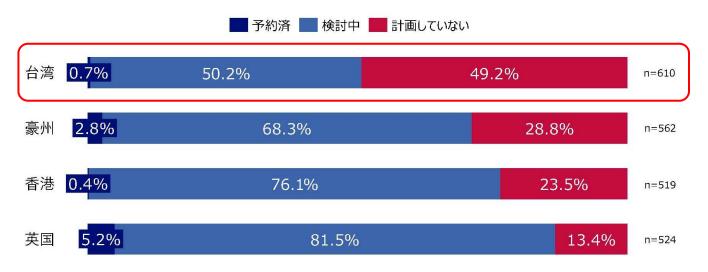




台湾人の旅行意欲

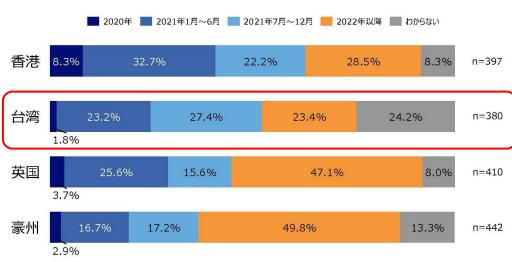
JNTOが2020年12月に発表した調査結果から、台湾人の旅行意欲について簡単にご報告します。

Q. 次の海外旅行(ビジネス目的含む)についての検討



- ・50.9%が訪日旅行を予約、または検討している
- ・他国に比べて、台湾は訪日旅行に慎重な人が多い

Q.次に訪日旅行(ビジネス目的含む)をする、 またはしたいと考えている時期



- ・52.4%が2021年中に訪日旅行を希望している
- ・近距離の方が早期の訪日旅行に意欲的である

イギリス、香港、オーストラリアなどと比較して、台湾は訪日(海外)旅行に慎重な人が多い。一方で、香港、台湾など近 距離国の方が早期の訪日旅行を考えていることがわかる。

台湾人の旅行意欲 海外旅行再開の兆しも…①

トラベルバブルでパラオ共和国との団体旅行再開

4月1日より感染対策を考慮しながら、台湾とパラオ共和国の観光・経済活動の活性化を 期待した「トラベルバブル(相互国合意の域内旅行)」の実施を発表

- ・旅行会社が企画したツアー旅行のみ
- ・フライトは週に2便で、最大乗客数は1便あたり110人
- ・旅行日数の上限は8日

<出国前の流れ>

出発前に空港でPCR検査を受ければパラオに到着後はPCR検査や隔離は不要

<帰国後の流れ>

帰国時のPCR検査は不要。帰国後5日以内は自主健康管の強化。PCR検査を行い、陰性 だった場合は帰国後14日目まで一般的な自主健康管理に変更

第1陣は100名が参加して盛況でしたが、その後は価格の高さや厳格な防疫措置に よりやや低調でした。また、感染拡大により5/22以降は募集、催行が中止されて います。シンガポールとのトラベルバブルも交渉が進んでいましたが、新型コロナ ウイルス感染拡大により停止となっています。



修 指揮中心快訊 類型 2021/03/17

指揮中心宣布開放臺帛旅遊泡泡 需符合防疫五大原則

到最低,確保旅游泡泡安全及順利推動,旅游行程規劃須符合下列防疫

- (一)團進團出,不可安排個人行程。
- (二)規劃行程以避開人潮或劃定區域與當地住民區隔為原則,預先選定
- (三)採全程定點接駁,接駁交通工具應每日加強清潔消毒
- (四)旅客僅限入住取得帛硫當地衞牛單位認可且「安全防疫相關認證
- (五)餐廳用餐需有專屬用餐區及適當分流,妥為規劃入出動線及座位安

第14天。

中央流行疫情指揮中心 關心您

台湾人の旅行意欲 海外旅行再開の兆しも… ②

グアムがワクチンツーリズムを開始 台湾人も多数参加

グアムで新型コロナウイルスのワクチン接種をセットにしたツアーの受け入れが始まり、 7月6日に台湾から164人が参加

- ・ワクチンはファイザー、モデルナ、ジョンソン・エンド・ジョンソンから選択可
- ・ツアーは4泊5日、6泊7日、21泊22日(7/22より)の3種類
- ・参加者の73%が49歳未満だった

<出国前の流れ>

出発前72時間以内にPCR検査を受ければグアムに到着後はPCR検査や隔離は不要

<帰国後の流れ>

一般的な入国者と同じ扱い

ライオントラベルの話によると第1陣は予約者の97%の人が参加。4泊5日のツアーはすでに439席売れたとのこと。7月22日よりロングステイプランも出発予定。



ITF2020の様子









■2020年の出展状況、事務局運営

2020年は、渡航条件が整わずに多くの団体が出展をキャンセルしました。

また、日本観光振興協会職員も渡航条件が整わず、ITF2020日本ゾーン運営のために台湾に渡航することができませんでした。 そのため、ITF会場における運営等は現地委託会社となる株式会社ノマド / ノマド インターナショナルに委託され、日本観光振興協会は準備・施工期間から会期中まで、常時、オンライン接続し、状況把握、確認、来場・問い合わせ対応、問題解決等にあたっていただきました。

■日本人が台湾に入国してプロモーションを行うことについて

ITF開催時点の日本のワクチン接種率と感染者数が大きく影響すると思われますが、台湾政府が入国を許可した外国人でワクチン接種を2回すでに終えていれば、2週間隔離の上でマスク、消毒等を徹底して来場する限り、問題ないと考える台湾人は多いであろうという見方が大勢です。昨年、ビジネス渡航が解禁された当初は、日本からの出張者に対するイメージは決して良くはなく、できるだけ接したくないという台湾人が多数でした。

ITF2020の様子 感染対策









- ・入場前に、WEBか手書きで実聯制登録
- ・検温を行い、37.5度以上の人は入場不可
- ・マスクの着用、手指のアルコール消毒
- ・1.5mのソーシャルディスタンス
- ・主催者、出展団体に関係するすべてのスタッフは、 「自己健康検査表」を記載して携帯

- ・試食については、配布は可能でしたが食べ歩きは禁止
- ・飲食エリアもなし
- ・なるべく各ブースの前で食べることを推奨